

2015年度 学生募集要項

デザイン専攻科(夜間部)VDコース B日程

1. 募集人員

デザイン専攻科 VDコース 若干名

※VDコースと他の3コース(PD・SD・FD)の併願受験は出来ません。

2. 受験資格

1) 高等学校の卒業者(卒業見込者を含む)。

2) 高等学校卒業程度認定(大学入学資格検定)試験合格者(見込者を含む)。

※外国籍の場合は、在留資格認定を受けることができる者。

3. 選考方法(試験内容)

実技試験 180分

面接 出願者全員

4. 出願

出願期間・方法

2015年2月16日(月)～2015年3月2日(月)

下記の出願書類①～④を揃え、「入学願書受付係」宛に書留で郵送する。

※締切日必着であるが、受験票を返送する都合上、早めの郵送が望ましい。

※締切日に限り、本校窓口へ17時まで持参可能。

出願書類

①入学願書(写真2枚を貼付し、1枚は同封する)

②最終学校の調査書、または成績証明書(提出書類の留意点を参照)

③受験票返送用封筒

④分野[コース]志望動機(同封の用紙に手書き)

[提出書類についての留意点]

1) 入学願書

表裏とも該当する箇所は全て記入し、入学願書・受験票は切り離さず提出する。

※願書の志望コース欄および受験票に関しては右図の通り記入する。

| 志望コース欄に○印を記入 | |
|--------------|------------|
| A 日程 | ビジュアルデザイン |
| | プロダクトデザイン |
| | スペースデザイン |
| | ファッションデザイン |
| B 日程 | プロダクトデザイン |
| | スペースデザイン |
| | ファッションデザイン |

2) カラー写真3枚(サイズは3cm×3cm)

カラー写真2枚は、願書の所定欄に貼付する。1枚は予備用写真封筒に入れて願書に同封する。

3) 最終学校の調査書または成績証明書

a) 高等学校卒業者(見込者を含む)は高等学校の調査書(卒業後、経年理由により調査書が発行されない場合は、成績証明書または卒業証明書)を提出する。

b) 大学院・大学・短大・専門学校・高等専修学校の卒業者(見込者を含む)は、最終学校の成績証明書を提出する。卒業年次以外の在校生は、最終学校が高等学校の場合は調査書を、その他は成績証明書を提出する。

c) 高等学校卒業程度認定(大学入学資格検定)試験合格者(見込者を含む)は、文部科学省発行の合格(見込)証明書および成績証明書を提出する。

なお、高等学校を中退し、高等学校卒業程度認定(大学入学資格検定)合格者は、高等学校在学時の成績証明書も併せて提出する。

d) 外国籍の場合は、在留資格認定を受けることができる証明書を提出する。

4) 受験票返信用封筒

本校所定の受験票返信用封筒に、住所、氏名、郵便番号を記入し、362円分の切手を貼って提出する。

5. 入学検定料

入学検定料 15,000 円は、銀行で振り込み、入学願書に必ず銀行の収納印を受ける。

※入学検定料の減額制度について

本年度中、複数回受験(昼間部、夜間部にかかわらず2回目以降の受験)の場合、検定料は 10,000円。

※願書受付後は理由のいかんに関わらず返金しない。

6. 受験票

出願手続き完了者には受験票を交付する。受験票は、試験当日や合格書類受取などの諸手続きまで必要なため、大切に保管すること。

受験票が試験当日の 2 日前までに手元に届かない場合は、「入学願書受付係」に連絡すること。

7. 試験日

2015 年 3 月 8 日(日)

※試験の開始時間や準備等の詳細は次ページを参照のこと。

8. 合格発表

2015 年 3 月 13 日(金)※郵送による通知発送日

本校ホームページ掲出 14:00

9. 入学許可

合格者は入学手続き締切日の 3 月 20 日(金)までに学費等所定の手続きを行うことにより、入学が許可される。

高等学校卒業見込者は、3 月 20 日(金)までに卒業証明書を提出すること。

10. その他の注意事項

その他の注意事項に関しては下記の「デザイン専攻科共通注意事項」で確認すること。

[デザイン専攻科入試 共通注意事項]

1. 試験会場

本校

試験会場周辺での、合否電報の予約受付、アンケート、チラシの配布などは、本校と一切関係がありませんのでご注意ください。

2. 解答作品について

入学試験の解答の所有権、著作権は、学校法人桑沢学園に帰属します。解答の返却はしません。

3. 健康診断書について

出願書類として健康診断書は不要です。ただし、出願に関しては、下記の点に注意します。

1) 疾病や身体機能の著しい障害のため、本学の就学に耐えられないと判断される者。または伝染病疾患などのため集団生活に適さないと判断される者については、入学を許可しないことがあります。

この懸念のある者は出願前に入試係へ問い合わせてください。

2) 入学後、本校で実施する健康診断において前項と同様な所見が認められた場合は、入学許可を取り消すことがあります。

4. 学費

学費は次ページの「学費」を参照。

5. 入学式

2015 年 4 月 6 日(月)[予定] 本校 1F ホール

願書受付期間 2015年2月16日(月)～2015年3月2日(月)

| | |
|--------------|---|
| 試験日 | 2015年3月8日(日) |
| 試験開始時間 | 2015年3月8日(日) 9:00 |
| 試験科目 | 実技試験/面接(入試形式はVDコースのA日程に準ずる/次ページに参考例を記載) |
| 受験に際して用意するもの | 鉛筆表現用具一式 用具例) 鉛筆(硬軟各種)、シャープペン、消しゴム、練りゴム、鉛筆削り、カッターナイフ、目玉クリップ、画鋏など |
| 面接 ※出願者全員 | 2015年3月8日(日) 13:30～ |
| 合格発表 | 2015年3月13日(金)14:00 ※当日に通知書を郵便で発送及びホームページに掲出 |
| 入学手続締切日 | 2015年3月20日(金) |

*画版、下書き用紙は当校で用意します。
*参考資料、エスキース帳、スケッチブック、色名帳、トレーシングペーパーの持ち込みは禁止します。

学費

デザイン専攻科(夜間部)学費

| | 1年 | | 2年 | |
|-------|---------|---------|---------|---------|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 入学金 | 165,000 | | | |
| 授業料 | 230,000 | 230,000 | 230,000 | 230,000 |
| 維持費 | 52,500 | 52,500 | 52,500 | 52,500 |
| 施設拡充費 | 40,000 | 40,000 | 40,000 | 40,000 |
| 計 | 487,500 | 322,500 | 322,500 | 322,500 |
| 年間納入額 | 810,000 | | 645,000 | |

※上掲の学費の他に同窓会終身会費(入学時)30,000円、学生会費(前期1回)、学生災害傷害保険料(入学時)を徴収します。

1. デザイン専攻科の2015年度学費は上の表に示すとおりです。
2. 一覧表の太枠線内に示す金額は、入学手続き時に納入する金額です。
それ以降の学費は、後期9月28日、前期4月27日に、預金口座振替(自動引落し)となります。
3. 3月31日(火)までに入学を辞退する場合は、入学金を除く他の納付金を返還する制度があります。

試験会場案内



JR山手線・湘南新宿ライン、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線、東急東横線・田園都市線、京王井の頭線
「渋谷」駅 ハチ公口他より徒歩約10分

JR「原宿」駅 表参道口より徒歩約7分
東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前」駅
1出口より徒歩約7分

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-17
TEL.03-3463-2431 (代)
TEL.03-3463-2432 (直)
URL <http://www.kds.ac.jp/>

実技試験 参考問題/解答例

【問題】「音」に関する「思い浮かぶ物や気になる物」を自由に考えてください。

配布された箱を自由に置き、箱にその「物」を入れたと想定して、箱とその「物」のデッサンをしなさい。

※「物」の大きさは箱の大きさと比較し、現実とは違うサイズになってもかまわない。

※「物」は自分の好きな「物」に限らず、嫌いな「物」や苦手な「物」でもよい。

※必要に応じて、箱の表面に絵を描いてもよい。

※配布された紙に鉛筆(黒)で表現すること。

※持参した物や試験場内にある物を描いてはいけません。

制作意図を300字程度で書きなさい。

解答用紙サイズ:A3(420×297)(描画スペース:270×234)

(※用紙=特白画学 170kg) ※用紙は変更する場合があります。

〈画材:鉛筆など〉

【出題意図】 テーマの「音」を自分の経験や関心をもとにイメージを膨らませます。あたえられたモチーフ(箱)を正確に描写し、その中にイメージを自由に組み込み表現します。最後にその制作主旨を論理的で適切な文章でまとめてもらいます。アイディア力、デッサン力、文章力など総合的な発想と表現力が求められます。日頃から身近な物をデッサンし、注意深く物を見ること。また、あたえられた「ことば」から自由に幅広く発想できる柔軟な発想力・表現力を養うことが大切です。

※テーマである「ことば(音)」とモチーフである「器(箱)」は毎年変わります。

【評価のポイント】 ・問題の「ことば(音)」から表現しようとしているか

・「ことば(音)」をもとに自分なりの発想・イメージが展開されているか

・その発想・イメージが必要とする「物」を想像や記憶で描くことができるか

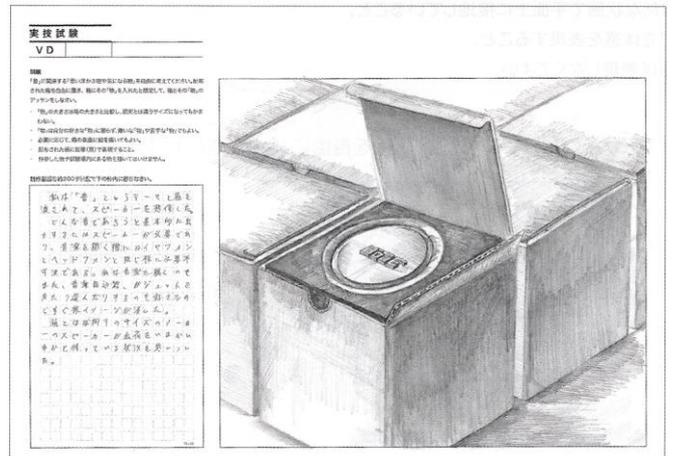
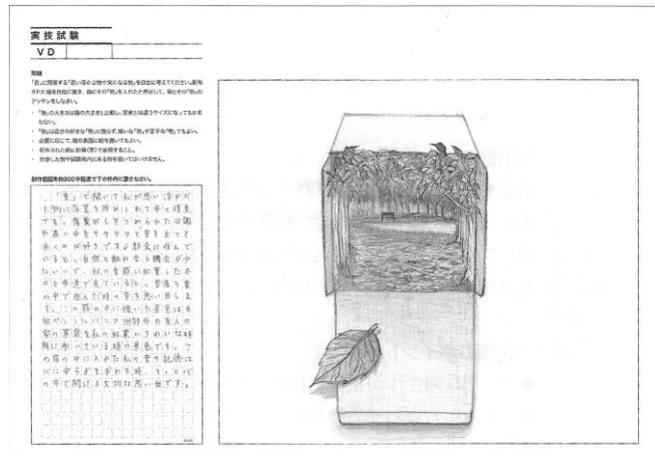
・実際にあるモチーフ(箱)を正確に描写しているか

・制作主旨をきちんとした文でまとめる文章力があるか

【モチーフ例】



【解答例】



【作品評価】

テーマの「ことば(音)」を自分の経験をもとにイメージを膨らませています。作者の優しい人柄が心に浮かびます。箱が劇場の舞台のように表現されていて、手前の一枚の「落ち葉」を大きく見せることで、より象徴的な表現になっています。箱の中の空間表現や、モチーフの箱の置き方に工夫があるのもっと良かったと思います。

今、作者が一番関心のある物を取り上げ、発想の元になっています。あたえられたモチーフを商品パッケージにたとえ、複数描いていることも面白い発想だと思います。箱やスピーカーのパーツに狂いがあること。スピーカーの表現がロゴや制作主旨の文章にたよらず、もっと分かりやすく描かれていると良かったと思います。